



「特殊かくはん翼」を使った独自工法

独自工法完工1000件に

岩水開発

地盤改良工事の岩水開発㈱(岡山市南区福吉町18-18、小坂広幸社長、資本金5000万円)が、独自工法「スリーエスG」による地盤改良を実施した累積完工棟数が1000件を突破した。

自社開発した「特殊かくはん翼」を使った、柱状の地盤改良体を築造する機械かくはん式深層混合処理工法。比較的大規模な建築物向けの「スリーエスG」と、延べ床500㎡程度以下の小規模建築物を主体とした「スリーエスG-cube(ジーキューブ)」の2種類

がある。

施工効率を高め工期を短縮するジーキューブを2年前に開始したことで実績を伸ばした。

2008年6月、同社内にスリーエスG工法協会(会長・小坂社長)本部を立ち上げ、現在全国18社(1月末時点)が加盟。加盟企業に対し定期的な研修を実施しており、業界内でも品質の高さに定評があるという。昨年、大和ハウス工業㈱(大阪市)のグループ会社が加盟したこともあり、2012年だけで完工棟数500件を見込む。

岩水開発はグループ年商43億円(2011・6期)。